

令和2年度 第2回 日進市地球温暖化対策地域協議会 次第

日 時：令和3年3月11日（木）

午前10時～正午

場 所：日進市役所南庁舎2階 第5会議室

1 あいさつ

2 議 題

(1) 令和2年度事業計画事業報告について（資料1、資料2）

(2) 令和3年度事業計画（案）について（資料3、資料4、資料5）

(3) その他

【資 料】

資料1	令和2年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業報告
資料2	令和2年度にしん省エネ倶楽部事業のあらまし
資料3	令和3年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画（案）
資料4	令和3年度重点施策と具体的内容（実行計画より）
資料5	令和3年度地球温暖化対策機器設置費補助金について
参考資料	日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

## 出席者名簿

委員の区分	委員名	
学識経験を有する者	中部大学中部高等学術研究所 博士	原 理史
	愛知学院大学 総合政策学部 教授	森下 英治
事業者	中部電力パワーグリッド株式会社 天白営業所長	広底 順一
	東邦ガス(株) 日進営業所長	米森 清紀
	あいち尾東農業協同組合日進支店 基幹支店長	浅見 公彦
	名鉄バス(株) 名古屋営業所長	廣田 実
	荒川工業(株) 総務部 部長	高木 伸治
	中央可鍛工業(株) 安全環境管理室 課長	岩元 裕満
	豊精密工業(株) 安全施設環境部 グループリーダー	小林 成昌
公募の市民		黒田 純男
		山本 裕子
市長が必要と認める者	日進市商工会 女性部理事	浅井 弘視
	生物多様性日進市民協議会	出原 伸平

事務局	日進市生活安全部環境課長	近藤 伸治
	日進市生活安全部環境課主幹	山田 和典
	日進市生活安全部環境課 ESD 推進係 係長	片岡 麻里
	日進市生活安全部環境課 ESD 推進係	宮田 大



# 令和2年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業報告

## 1 事業活動の基本方針

地域における地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・行政の力を集結して、地球温暖化防止活動等の活性化と啓発を図る。

## 2 令和2年度の重点目標

日進市地球温暖化対策実行計画に定められた具体的施策内容の中から日常生活・日常活動の中で取り組める対策（行動計画）を推進する。

また、地球温暖化対策に関する市民の意識高揚のための啓発活動を行う。

## 3 事業の内容

日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿って事業を推進していきます。それぞれの事業が、どの重点施策にあたるかについては、資料4の記載のとおりである。

### ●地球温暖化対象機器設置費補助事業の実施（実行計画：A1 A2 E13）

地球温暖化防止対策の一環として、住宅への太陽光発電システムなど環境配慮型機器の設置費補助事業を実施した。令和2年度から住宅の低炭素化に大きく貢献できる建物のエネルギー効率を高めた一体的導入メニューを新設する等、令和元年度から補助メニューを変更して実施した。

<b>【目標】</b>	222件（一体的導入の場合を1件とすると 148件）
<b>【実績】</b>	213件（一体的導入の場合を1件とすると 155件）
	補助額合計 10,450,000円
①エネファーム	44件
②蓄電池	59件
③HEMS	17件
④電気自動車等充給電設備	1件
⑤エコ窓改修	5件
⑥一体的導入（太陽光発電＋蓄電池＋HEMS）	11件
⑦一体的導入（太陽光発電＋HEMS＋電気自動車等充給電設備）	0件
⑧一体的導入（太陽光発電＋HEMS＋高性能外皮等）	18件

●にっしん子ども省エネ倶楽部事業の実施（実行計画：A3）

国や県が実施している国民運動「COOL CHOICE」への参加を呼びかけるとともに、市内の家庭や小規模事業所からの温室効果ガス排出量削減を目的とする事業を実施した。（平成27年度から実施）

子どもを通じた家庭の省エネを推進するため子ども省エネ教室を実施した。（児童クラブ・学童）

市内でユネスコスクールに認定されている中部第一高等学校など外部機関と連携し、高校生による子ども省エネ教室を開催し、効果的な普及啓発を行った。

**【実績】**

事業名称：にっしん省エネ倶楽部 COOL CHOICE 促進ネットワーク事業

事業期間：令和2年8月12日から令和3年2月12日まで

執行額：3,993,000円

（参照：資料2 にっしん省エネ倶楽部事業のあらまし）

●にっしんクールシェア・ウォームシェアの実施（実行計画：A3）

夏季の電力ピーク時間帯（午前10時～午後4時）における家庭での節電のため、エアコンを消して涼しいところに集まる「クールシェア」の取組を推進した。

夏季よりも電力使用時間帯が長い冬季における家庭での節電のため、エアコンを消して暖かいところに集まる「ウォームシェア」の取組も推進した。

クールシェア、ウォームシェアの両方について協力店を募集し、協力店や公共施設を掲載したチラシ、ポスターを配布し、周知する予定であったが下記のとおり中止とした。

**【目標】** 45箇所（にっしんクールシェア・ウォームシェアの参加箇所数）

**【実績】** 中止

- ・外出自粛により家庭での時間が多くなったことから家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量も増えることも考えられるため、家庭におけるクールシェアなどCO<sub>2</sub>排出量を減らす取組を広報等で啓発した。
- ・新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から、クールシェア・ウォームシェアスポット協力店の募集は中止とした。
- ・家庭や事業所でCO<sub>2</sub>削減行動を意識してもらうため、「見える化ラベル」を作成し、市ホームページ、広報、市内公共施設等で周知した。

●行動計画の推進（実行計画：B7）

環境方針に基づき、持続可能な環境の実現に向けて「日進市環境保全・創出のための行動計画」を設け、市として省エネルギー、省資源及びグリーン購入の推進を図った。

職員の取組度合いを、環境保全チェックシートで把握した。今後、エコ通勤の取組率を高めていくことが課題である。

【目標】 75%（達成率）

【実績】 未集計

（参考）令和元年度実績 68.3%

- ・業務の中で取り組める環境保全行動やエコ通勤など職員に通知等で啓発した。
- ・日進市グリーン購入指針及び日進市公共施設グリーン購入計画を一部改正し、職員が取組みやすいようにグリーン購入推進品目及び判断基準を表に示した。

●にっしん環境まちづくりサポーターズ事業の推進（実行計画：C9）

市民、市民団体、事業者、行政等の各主体が、緩やかな連携を図りながら、環境まちづくりに参加する人を増やすことを目的とし、サポーターズポイント制度及びパートナーシップ団体認定制度を推進した。

※本事業は、環境まちづくり活動を始めるきっかけづくり及び活動を継続させるモチベーションの向上を目的とした制度であり、ポイントを交付して景品の当たる抽選会への参加を促し、環境サポーターズ会員の登録者数を増やし環境まちづくり活動を推進していくものである。

※ポイント対象行為

エコライフ・エコドライブ宣言、にっしんクール&ウォームシェア、ESD講座（環境イベント）への参加、緑のカーテンコンテストへの参加、地球温暖化対策機器の設置、530運動への参加、生ごみ処理機補助金申請、「にっしん健康マイレージ」への参加など、環境課以外の講座やイベントでも配布した。

【目標】 280人（年間登録者数）

【実績】 84人（年間登録者数） ※令和3年2月末時点

- ・ESD講座等を開催し、参加者へポイント券を配布している。
- ・登録会員数 2,214人 ※令和3年2月末時点
- ・抽選会実施 期間：12月19日から12月25日まで  
場所：日進市役所本庁舎2階 第4会議室、環境課窓口  
応募数：292口、当選者：15人

●緑のカーテン事業の実施（実行計画：D12）

公共空間や民有地の緑化を進め、緑とのふれあいや暑さを和らげる効果により冷房の設定温度を控えるなど二酸化炭素削減の省エネ行動につながっていくことを目的とし実施した。

①緑のカーテンコンテストの実施

対 象：一般部門（市内にある一般住宅および事業所）、公共施設部門（学校、保育園等）

実 施 日：令和2年7月20日～令和2年9月10日

審 査：令和2年10月（会長・副会長に依頼）

表 彰 式：令和2年12月11日（金）

※5月に資材の無料配布を実施し、コンテスト参加を促した。

②緑のカーテン育成講座の実施

5月に福社会館（新）・市役所で緑のカーテンを上手に育てるコツを学ぶ講座を実施する予定であったが、下記のとおり中止となった。

③公共施設での緑のカーテン設置

市内公共施設、保育園、小中学校、福社会館等に緑のカーテンを設置した。

【目標】65件（コンテスト応募件数）

【実績】76件（コンテスト応募件数）

内訳：一般部門（市民・事業者向け）40件、公共施設部門36件

（参考）令和元年度実績 62件（コンテスト応募件数）

（一般部門：26件、公共施設部門：36件）

・苗・ネットの配布数

一般部門（市民・事業者向け）99件、市内公共施設 37件

・コンテストの表彰式は市民まつり会場で実施予定であったが、市民まつりの中止に伴い、12月11日（金）に市役所市長公室にて実施。

表彰については、一般部門から、最優秀賞1名、優秀賞3名を表彰。

・新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から、公共施設が閉鎖されたことにより緑のカーテン育成講座は中止とした。

●環境学習講座の実施（実行計画：F15 F16 H18）

①コミュニティ公募提案型事業の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実施期間：令和2年6月～令和3年3月

実施方法：市民団体へ委託した。

②企業と連携した講座の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実施日：下記のとおり

実施方法：民間企業と連携して実施した。

【目標】 54講座（講座実施数）

【実績】 52講座（講座実施数）、1,465人※令和3年2月26日時点

新型コロナウイルス感染症対策として、参加募集人数を減らし①～③の講座を実施した。

①コミュニティ公募提案型事業（にしんESD事業）：30講座（10事業）

- ・30講座終了：参加者数 902人（令和3年2月26日時点）
- ・新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から2講座中止

（参考）令和元年度実績：36講座（10事業）：参加者数578人

②企業と連携した講座 76人

- ・親子でパソコン分解講座（シーピーセンター(株)） 8月4日（火）参加者16人
  - ・親子deリサイクルツアー（(株) 中西） 8月6日（木）参加者12人
  - ・地球温暖化を学ぶ科学実験教室（東邦ガス） 10月25日（日）参加者18人
  - ・地球温暖化を学ぶ省エネ教室（パナソニック） 12月26日（土）参加者30人
- 合計 76人

③その他 487人

- ・親子で石けんづくり教室（あいあいの家） 8月5日（水）参加者 15人
  - 10月19日（月）参加者 9人
  - ・水生生物調査（ライオンズクラブ共催） 8月6日（木）参加者 50人
  - ・犬の飼い方講座（日進市開業獣医師会） 10月31日（土）参加者 26人
  - 11月6日（金）参加者 15人
  - ・省エネ倶楽部事業 参加者 372人
- 合計 487人

●各イベントへの参加（実行計画：G17）

事業内容の普及啓発、発表の場としてイベントを活用するものであるが、中止となった。

5月 530運動（中止）

7月 わいわいフェスティバル（中止）

11月 市民まつり（中止）

【実績】

新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点からイベントが全て中止となった。

●事業の広報（実行計画：G17）

①環境新聞：年4回（実績は下記のとおり）

②環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信（毎月15日配信）

③広報につきん（予定）

4月：住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金について

5月：緑のカーテンコンテスト周知

6月：環境月間（COOL CHOICE 啓発等）

7月：クールシェア（地球温暖化適応策）

11月：ウォームシェア

12月：地球温暖化対策（メカニズムや現状を含む）

2月：省エネルギー月間（COOL CHOICE 啓発等）

④市ホームページへの掲載

インターネットを利用して、当協議会の事業等についての紹介と同時に、地球温暖化防止等を市民に対して啓発した。

**【実績】**

環境新聞、環境サポーターズメールマガジン、広報につきん等で地球温暖化対策の取組について発信した。

①環境新聞：年3回

1号（6月）地球温暖化対象機器設置費補助事業

2号（10月）過剰包装・プラスチックごみを減らそう

3号（1月）浄化槽法定点検をしよう、COOL CHOICE、  
ごみのお知らせアプリの紹介

②環境まちづくりサポーターズメールマガジン（累計2月15日第62号まで配信済）

③広報につきん

4月：住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金について

5月：緑のカーテンコンテスト周知

6月：環境月間（COOL CHOICE 啓発等）

7月：クールシェア（地球温暖化適応策）

12月：地球温暖化防止月間（エコモビ推進キャンペーン）

2月：省エネルギー月間（地球温暖化のメカニズムや現状、COOL CHOICE 啓発）

その他：市内小学校に配布する「夏休みわくわくプロジェクトイベントガイド合併号」に地球温暖化の取組として緩和策、適応策について掲載し、日々の暮らしの中で身近にできる地球温暖化防止のための取組を啓発した。



## 3. 事業の成果

## 取組みの参加者数（普及啓発の訴求数）

これらの活動による普及啓発の結果、直接効果1,347人、波及効果1,710人の合計3,057人に省エネ等のCOOL CHOICEを働きかけることができました。コロナ禍であった中でしたが、目標の2,860人（補助申請時）を上回る結果となりました

項目	実施状況(実績)		訴求実績	
	訴求数(直接)	波及効果数(推定)	訴求数(推定)	
1. 多世代連携によるエコライフ普及啓発の展開	224	224	448	
2. エコ外出マップ作成ワークショップ開催とエコモビリティ普及啓発の実施	48	48	96	
3. 地元販売店によるエコモビ推進キャンペーンの展開	221	584	805	
4. X博士の子ども省エネ教室による家庭へのエコライフ普及啓発の展開	181	181	362	
5. エコライフ自己点検の実施と転入者へのエコライフ普及啓発の展開	673	673	1,346	
合計	1,347	1,710	3,057	

## 二酸化炭素削減の効果

子ども省エネ教室への参加学童の家庭に対しては「にっしん COOL CHOICE アンケート」を実施しています。これらを回収して得られたデータ（有効データ数63件）を元にCO<sub>2</sub>の削減効果を推計しました。

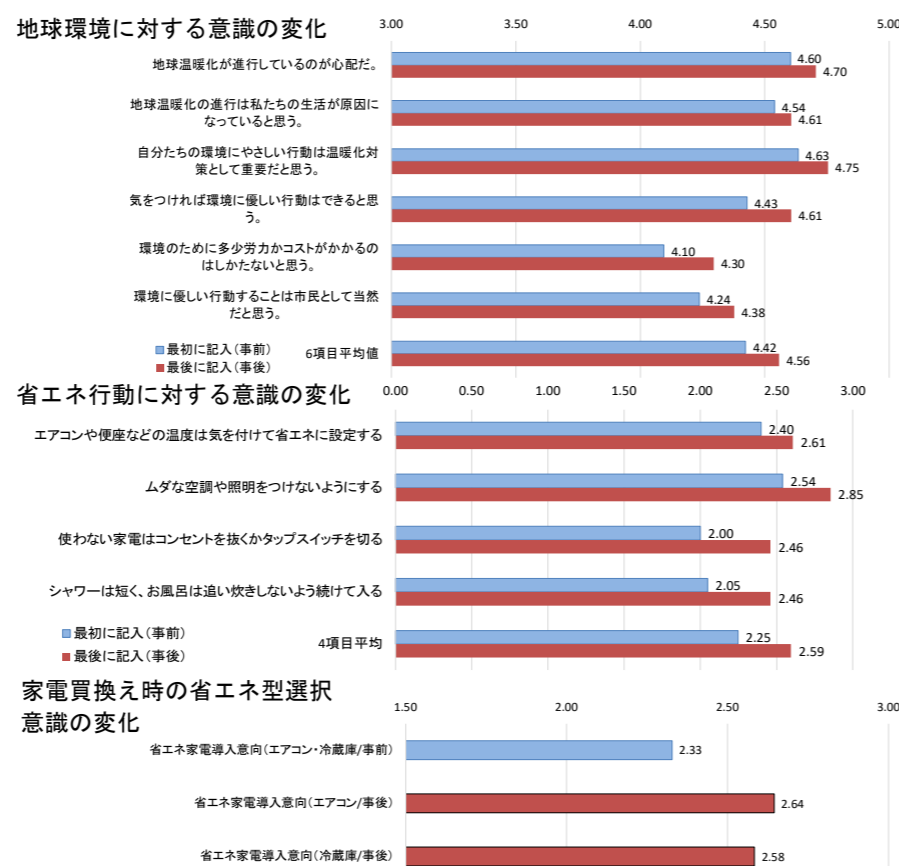
	設定見直しCO <sub>2</sub> 削減量年間予測(CO <sub>2</sub> -kg)	日常行動のCO <sub>2</sub> 削減量年間予測(CO <sub>2</sub> -kg)	CO <sub>2</sub> 削減量年間予測合計(CO <sub>2</sub> -kg)
合計	2,865	1,193	4,058
平均	45.48	18.94	64.41
件数	63	63	63

推計の結果、本活動の全体の効果として年間削減効果は行動実績ベースで4,058 kg/年（設定見直し2,865 kg/年、日常行動1,193 kg/年）、およそ4.1t/年の二酸化炭素の削減効果が現れたと評価されました。

## 意識づけの効果

「にっしん COOL CHOICE アンケート」の事前、事後の比較では、地球環境の意識についても、また、省エネ行動をしていこうという気持ちについても、すべての項目が事前に対して事後が上回っており、省エネの取組みを通じて高くなっていることがわかりました。

また、家電の買換え行動についても事前に比べて事後の方が環境性能を重視する意識が高くなる効果が現れました。省エネ行動を実際に取り組むことで、意識づけについて今回の普及啓発による効果が表れたと考えられます。



## 令和2年度 にっしん省エネ倶楽部事業のあらまし

日進市

## 1. 事業の目的と概要

地球温暖化の取組みにおいては、特に増加が著しい家庭部門での「COOL CHOICE」行動（地球にやさしい賢い選択）が行われることが必要です。そのためには様々な市民が連携して活動できるような、コミュニティづくりが重要です。本市では、平成28年6月、市長の環境宣言にCOOL CHOICEを取り入れ、市全体の取組みを推進することとしました。これを受け、地球温暖化対策協議会の活動の一環としてコミュニティネットワーク「にっしん省エネ倶楽部」を構築し、地域における省エネ活動の普及啓発に取り組んできました。また、平成28年に閣議決定された「地球温暖化対策計画」を踏まえ、平成31年3月に地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）の改訂を行いました。本年度は昨年度の実行委員会における提言に基づき、多世代交流を強化するとともに、懸案であった「移動」に関する低炭素化（エコモビ）キャンペーンを展開するなど地道に普及啓発を継続することを目的として事業を実施しました。事業の推進にあたっては実行委員会を設けて多様なステークホルダーと緊密に情報交換を行うとともに、市の広報誌を活用して市民に様々なCOOL CHOICEの情報を提供して、市民全体への訴求も図っています。

## 2. 事業内容

## 1. 多世代連携によるエコライフ普及啓発の展開

昨年度活動を始めた「未来への語り部」、中部大学第一高等学校のESD部、日進市子ども会連合会の連携と協働で、市民、大学生、高校生、子どもたちなど多様な世代が交流する形での普及啓発を展開しました。

## (1) 未来への語り部による「未来への茶飲み話会」の開催

「未来への語り部」事業は、豊富な経験がある4人の市民活動家に、日頃からの地球環境に配慮した活動の中での（おばあちゃんの知恵袋のような）「選択」場面を語りつつ、その重要性を若い世代に伝える活動として、昨年度から開始しました。

今年度は、大学生、一般市民、子どもたちを対象に3回の「未来への茶飲み話会」を実施しました。日常ではなかなか出会えない世代との交流で、参加者はそれぞれ新しい刺激とともにCOOL CHOICEを考えるきっかけとなりました。



第1回（対象：学生）：11月26日  
愛知学院大学



第2回（対象：一般市民）：12月15日  
市民会館



第3回（対象：子ども）：1月14日  
東小学校放課後教室

## (2) 「中部大学第一高校 ESD クラブ」 高校生 WS の開催

中部大学第一高校 ESD 部メンバーによる COOL CHOICE のクイズゲームの作成を目標としたワークショップを3回実施しました。シナリオ、問題構成、スライド作成等については生徒が主体的に行い、子供向けのクイズゲームを作成しました。



ワークショップでクイズシナリオを検討中

## (3) 高校生による子ども省エネ教室の開催

令和3年1月10日に日子連竹の山支部の子ども会の児童を対象に、高校生による省エネ教室を開催しました。午前と午後の部に分かれ、環境省のアニメ「地球との約束」上映後、それぞれ高校生2グループがワークショップで作成したクイズを出題し、ゲームを行うなど楽しい時間をすごしました。



ワークショップで作ったクイズを出題



子どもたちと一緒に COOL CHOICE のすごろくゲーム

## 2. エコ外出マップ作成ワークショップ開催とエコモビリティ普及啓発の実施

### (1) 市民やユースによるエコ外出マップ作成 WS の開催

一般の市民や学生に参加いただき日進市のバス路線図などをベースに、エコにお出かけするマップを作成するワークショップを10月から12月に3回行いました。



ワークショップ

### (2) エコモビリティに関するセミナー開催

作成したマップは1月16日に開催したセミナーでお披露目しました。このセミナーでは交通の専門家による講演の後、交通ゲーム「クルマと電車、どっちがいい？」で公共交通と自家用車の特性と交通 COOL CHOICE について体感しました。



ECO 外出マップ



エコモビセミナー

## 3. 地元販売店によるエコモビ推進キャンペーンの展開

地元販売店による「エコモビ推進キャンペーン」を12月1日～31日に実施しました。市の広報を用いてキャンペーンを周知するとともに、啓発ツールを事業者に配布し、環境まちづくりサポーターズポイントも活用してエコ交通を市民に訴求しました。

応援1「くるりんばすを使おうキャンペーン」では、くるりんばす定期券、回数券販売場所でもキャンペーンチラシを配布し COOL CHOICE を誘導しました。また、応援2「自転車・エコバイクを使おうキャンペーン」では市内3店舗、応援3「エコカー購入を考えようキャンペーン」では市内の8店舗に協力をいただき、ポスターの掲示を行うとともに、エコモビに協力いただけるお客さんへポイントを配布しました。

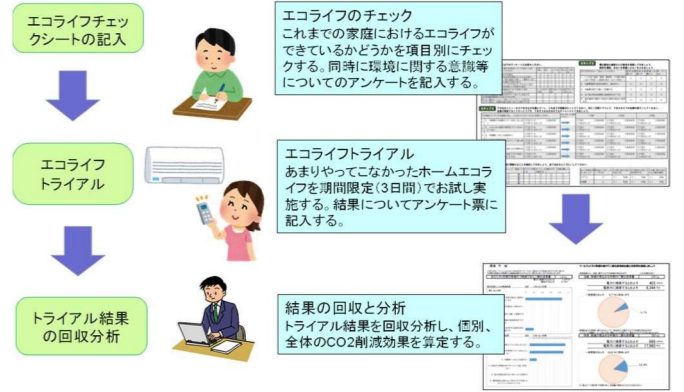


## 4. X博士の子ども省エネ教室による家庭へのエコライフ普及啓発の展開

小学生等を対象にクイズゲームを行う「子ども省エネ教室 X博士の特別指令 クールチョイスで家庭の省エネ大作戦！」を市内の学童保育と放課後子ども教室で実施しました。合計5回の開催で合計181人の児童が参加しました。

省エネ教室ではX博士の出題する〇×クイズとカードゲームで COOL CHOICE の内容を学びました。この教室を通じて、省エネに気付いてもらうとともに、「にしん COOL CHOICE アンケート」を家庭に持ち帰って記入してもらいました。

- 第1回 12月14日 きたっこ(学童保育) 28名
- 第2回 12月15日 赤池小学校(放課後教室) 31名
- 第3回 12月25日 かにっこ(学童保育) 36名
- 第4回 1月5日 にしっこ(学童保育) 16名
- 第5回 1月15日 西小学校(放課後教室) 70名



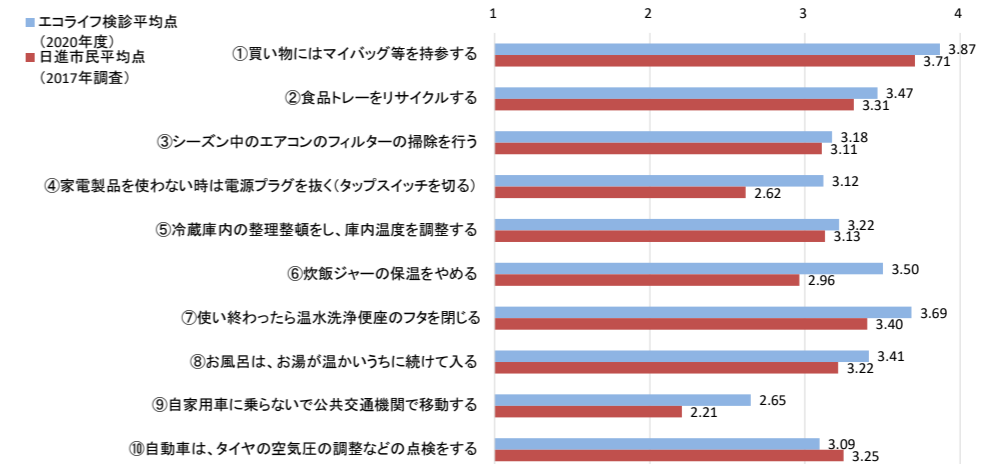
X博士の〇×クイズ

## 5. エコライフ自己点検の実施と転入者へのエコライフ普及啓発の展開

### (1) 「環境まちづくりサポーターズポイント」抽選会でのエコライフ自己点検実施

省エネ行動定着について喚起するための問診型エコライフ診断票を作成し、市民(109人)に環境ポイント抽選(12月19日～25日)でのエコライフ自己点検を実施してもらいました。

市民のエコライフ健診の結果、日進市民全体平均値と比較したものは、ほとんどの項目で市民全体の平均値を上回っている。



### (2) 転入者への普及啓発

日進市への転入者へ新生活を転機とした COOL CHOICE の普及啓発を行うために、転入手続き時に配布する資料の一つとして「にしんクールライフノート」などを加えて、エコライフの働きかけを行いました。10月～12月の3か月間で564世帯に配布できました。



普及啓発資料を配布した月別の転入者

月	転入者数	転入世帯
10月	309	167
11月	330	193
12月	374	204
合計	1,013	564



# 令和3年度日進市地球温暖化対策地域協議会事業計画（案）

## 1 事業活動の基本方針

地域における地球温暖化対策を推進するため、市民・事業者・行政の力を集結して、地球温暖化防止活動等の活性化と啓発を図る。

## 2 令和3年度の重点目標

日進市地球温暖化対策実行計画に定められた具体的施策内容の中から日常生活・日常活動の中で取り組める対策（行動計画）を推進する。引き続き地球温暖化対策に関する市民の意識高揚のための啓発活動を行う。

## 3 事業の内容

日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿って事業を推進する。各事業が、どの重点施策にあたるかについては、資料4の記載のとおりである。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、各事業については内容変更や中止となる場合がある。

### ●地球温暖化対象機器設置費補助事業の実施（実行計画：A1 A2 E13）

地球温暖化防止対策の一環として、住宅への太陽光発電システムなど環境配慮型機器の設置費補助事業を実施する。住宅の低炭素化に大きく貢献する建物のエネルギー効率を高めた一体的導入メニューを含めて補助する。予算は、令和2年度と同額である（資料5参照）。

目標：補助件数 135件

### ●にっしん子ども省エネ倶楽部事業の実施（実行計画：A3 F15 F16 H18）

国や県が実施している国民運動「COOL CHOICE」への参加を呼びかけるとともに、市内の家庭や小規模事業所からの温室効果ガス排出量削減を目的とする事業を実施する。（平成27年度から実施）

子どもを通じた家庭の省エネを推進するため子ども省エネ教室を実施する。（児童クラブ・学童等）

市内でユネスコスクールに認定されている中部第一高等学校など外部機関と連携し、高校生から子どもたちへの効果的なCOOL CHOICEの普及啓発に努める。

### ●にっしんクールシェア・ウォームシェアの実施（実行計画：A3）

夏季の電力ピーク時間帯（午前10時～午後4時）における家庭での節電のため、エアコンを消して涼しいところ集まる「クールシェア」の取組を推進する。

夏季よりも電力使用時間帯が長い冬季における家庭での節電のため、エアコンを消して暖かいところ集まる「ウォームシェア」の取組も推進する。

クールシェア、ウォームシェアの両方について協力店を募集し、協力店や公共施設を掲載したチラシ、ポスターを配布し、周知に努める。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、各事業については内容変更や中止となる場合がある。

目標：参加箇所数 45箇所

●行動計画の推進（実行計画：B7）

環境方針に基づき、持続可能な環境の実現に向けて「日進市環境保全・創出のための行動計画」を設け、市として省エネルギー、省資源及びグリーン購入やエコ通勤の推進を図る。

職員の取組度合いを、環境保全チェックシートで把握する。

目標：75%（達成率）

●にっしん環境まちづくりサポーターズ事業の推進（実行計画：C9）

市民、市民団体、事業者、行政等の各主体が、緩やかな連携を図りながら、環境まちづくりに参加する人を増やすことを目的とし、サポーターズポイント制度及びパートナーシップ団体認定制度を推進する。

※本事業は、環境まちづくり活動を始めるきっかけづくり及び活動を継続させるモチベーションの向上を目的とした制度であり、ポイントを交付して景品の当たる抽選会への参加を促し、環境サポーターズ会員の登録者数を増やし環境まちづくり活動を推進していくもの。

※ポイント対象行為

E S D講座（環境イベント）への参加、緑のカーテンコンテストへの参加、地球温暖化対策機器の設置、530運動への参加、生ごみ処理機補助金申請、「にっしん健康マイレージ」への参加など、環境課以外の講座やイベントでも配布する。

目標：会員登録者数 150人

●緑のカーテン事業の実施（実行計画：D12）

公共空間や民有地の緑化を進め、緑とのふれあいや暑さを和らげる効果により冷房の設定温度を控えるなど二酸化炭素削減の省エネ行動につながっていくことを目的とし実施する。

①苗・ネットの配布（市民・事業者）

苗・ネットを100セット無料配布し、コンテスト参加を促す。（広報5月号で周知予定）

※苗を上手に植えるコツなどのリーフレットも配布

②公共施設での緑のカーテン設置

市内公共施設、保育園、小中学校、福祉会館等に緑のカーテンを設置する。

③緑のカーテンコンテストの実施

対 象：一般部門（市内にある一般住宅および事業所）、公共施設部門（学校、保育園等）

実施予定日：令和3年7月20日～令和3年9月10日

審 査：令和2年10月上旬頃（会長・副会長に依頼予定）

表 彰 式：令和3年12月上旬頃（予定）

目標：80件（コンテスト応募件数）

●環境学習（ESD講座）の実施（実行計画：F15 F16 H18）

①コミュニティ公募提案型事業（にしんESD事業）の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：未定

実施方法：市民団体へ事業を委託予定

②企業と連携した講座の実施

対 象：市内在住・在勤・在学の方

実 施 日：未定

実施方法：民間企業と連携して実施する。

③省エネ倶楽部事業等

目標：1,500（ESD講座参加者数）、55講座（講座実施数）

●各イベントへの参加（実行計画：G17）

事業内容の普及啓発、発表の場としてイベントを活用する。

5月 530運動、 7月 わいわいフェスティバル、 11月 市民まつり

●事業の広報（実行計画：G17）

①環境新聞：年3回（予定）

②環境まちづくりサポーターズ会員へのメールマガジン配信（毎月15日配信予定）

③広報にしん（予定）

4月：住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金について

5月：緑のカーテンコンテスト周知

6月：環境月間（ESD普及啓発、COOL CHOICE 啓発等）

7月：クールシェア（地球温暖化緩和策・適応策）

11月：ウォームシェア

12月：地球温暖化対策（COOL CHOICE 啓発、エコモビキャンペーン）

2月：省エネルギー月間（地球温暖化の現状や取組む目的、COOL CHOICE 啓発）

④市ホームページへの掲載

インターネットを利用して、当協議会の事業等についての紹介と同時に、地球温暖化防止等を市民に対して啓発する。

令和3年度 重点施策と具体的内容（協議会において主体的に関与する必要性が高いものとその事業内容）（案）

資料4

※日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間見直し P.39～48より

区分		重点施策	具体的施策内容	令和3年度事業計画	令和3年度目標	
エネルギー起源CO2	市民	家庭での省エネルギー化の取組	A1 省エネルギー性能の高い設備・機器の導入	電気やガスを用いる機器を省エネルギー性能の高いものに転換することで、家庭での省エネルギー化を効果的かつ着実に進めます。	地球温暖化対象機器設置費補助事業の実施	地球温暖化対策機器設置費補助件数 <b>135件</b> ※予算はR2と同額  (実績) R1 236件 R2 213件 ※一体的導入の場合を1件とすると155件
			A2 住宅建物の省エネルギー化の促進	住宅建物の断熱性を向上することで、暖房や冷房のエネルギーのロスを抑制します。また太陽光発電等の再生可能エネルギーと組み合わせ、家庭の消費エネルギーの収支をゼロにするZEHや省エネ基準適合住宅の普及を推進します。	広報・HP等で省エネ情報を発信する	
			A3 日常的な省エネルギー活動	「COOL CHOICE」通じて、暮らしの省エネ化、エコライフをめざします。	にっしん省エネ倶楽部事業の実施 にっしんクールシェア・ウォームシェアの実施 広報・HP等で省エネ情報を発信する 見える化ラベル（家庭用）の周知 エコ外出マップの周知	
	事業者	事業所での省エネルギー化の取組	B4 省エネルギー性能の高い設備・機器の導入	業務用給湯器や業務用空調機、照明など、エネルギー使用量の多い設備・機器に着目し、積極的に省エネ機器への転換を図ることで、着実な省エネルギー化をめざします。	広報・HP等で省エネ情報を発信する 見える化ラベル（事業所用）の周知	行動計画達成率 <b>75%</b>  (実績) R1 68.3% (R2 未集計)
			B5 建物の省エネルギー化の促進	建物の断熱性能を向上することで、暖房や冷房のエネルギーのロスを抑制します。		
			B6 継続的な環境配慮行動のためのしくみづくり	省エネルギー等に資する具体的な行動を明文化したり、定期的に検証することをルール化することで、環境配慮行動を組織に定着させることをめざします。		
			B7 市役所における率先した取組の推進	市の事務・事業に伴う温暖化効果ガスの排出を抑制します。	日進市環境保全・創出のための行動計画の推進	
	車の所有者	自動車の省エネルギー化の取組	C8 エコカーの導入	従来の自動車からハイブリッド車や燃費の良い自動車に転換することで、二酸化炭素の排出削減を進めます。	にっしんクールライフノートの配布	サポーターズ会員登録者数 <b>150人</b>  (実績) R1 311人 (R2 84人※R3.2未)
			C9 エコドライブの推進	「エコドライブ」（アイドリングストップ、加減速が少ないなど、燃費の良い運転）の普及を進めます。	にっしん環境まちづくりサポーターズ制度の推進 広報・HP等で省エネ情報を発信する	
	行政	まちづくり分野での取組	D10 公共交通機関・自動車等の利用促進	マイカーから公共交通機関や徒歩・自転車に転換することで、エネルギーの消費の少ない交通をめざします。	公共交通機関の利用促進を啓発 エコモビの推進 エコ外出マップの周知	くるりんばすの一日あたりの利用者数 <b>900人</b>  (実績) R1 896人 (R2 未集計)
			D11 環境負荷の少ないまちづくりの推進	市役所周辺地域の利便性を高め、環境負荷の少ないにぎわいのある中心核の形成をめざします。	緑のカーテン事業の実施	緑のカーテンコンテスト応募件数 <b>80件</b> (実績) R1 62件、R2 76件
			D12 緑化等による都市気候の緩和	公共空間や民有地の緑化を進めることによって、二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の緩和をめざします。		
全て	再生可能エネルギーの利用促進	E13 再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入促進により、電気の使用に伴う温室効果ガスの排出削減をめざします。	地球温暖化対象機器設置費補助事業の実施	地球温暖化対策機器設置費補助件数 <b>135件</b> ※予算はR2と同額  (実績) R1 236件 R2 213件 ※一体的導入の場合を1件とすると155件	
		E14 環境にやさしい電力の選択	電力の契約にあたって、再生可能エネルギーなど環境に配慮した電力を選ぶことで、間接的に温室効果ガスの排出削減をめざします。	広報・HP等で市民・企業へ情報を発信する		
非エネルギー起源CO2	全て	廃棄物の抑制	F15 廃棄物の発生抑制	ごみになるようなものを家庭に持ち込まないこと、また、今あるものをできるだけごみにしないことで、廃棄物の発生を抑制し、廃棄物処理に伴う温室効果ガスの削減をめざします。	ESD講座の実施（夏休みリサイクルツアー等） にっしん省エネ倶楽部事業の実施 見える化ラベル（家庭用）のPR 広報・HP等で市民・企業へ情報を発信する	リサイクル率 <b>33%</b>  (実績) R1 29.7%、 (R2 未集計)
			F16 リサイクルの推進	廃棄されたものが資源として適切にリサイクルされるよう取り組み、天然資源の消費を抑制するとともに、廃棄物処理に伴う温室効果ガスの削減をめざします。		
普及啓発等	行政	情報発信の拡充	G17 情報発信の拡充	地球環境の現状や持続可能な社会の実現のために取り組むべき事などについて、情報に接する機会とその内容を拡充し、多くの人の行動が地球環境に配慮したものに転換していくことをめざします。	各イベントへの参加 530運動、わいわいフェスティバル、市民まつり等 広報・HP等で省エネ情報を発信する	ESD講座参加者数・講座数 <b>1,500人、55講座</b>  (実績) R1 1,337人 54講座 R2 (1,465人 53講座※R3.2未時点)
		環境学習の推進	H18 環境学習の推進（ESD講座）	さまざまな属性の市民や事業者が、それぞれの立場で地球環境の保全のための学びを得て、実践につなげていくことをめざします。	ESD講座の実施 にっしん省エネ倶楽部事業の実施 にっしん環境まちづくりサポーターズ制度の推進	

( )は現時点での情報です。








## 令和3年度 日進市地球温暖化対策機器設置費補助金について

地球温暖化防止対策の一環として、住まいの低炭素化をすることを目的に、地球温暖化対策機器設置費の一部を補助します。

自ら居住している市内の住宅に下記の機器を新たに設置する市民の方に、予算の範囲内で補助金を交付しています。

## 〔補助対象機器等〕

令和2年度と同様の補助メニューで実施していきます。

1	2	3	4	5	6	7
<b>太陽光発電システム</b>  ※一体的導入に限る 1kwあたり1万円 上限4万円	<b>家庭用燃料電池システム (エネファーム)</b>  上限 5万円	<b>定置用リチウムイオン蓄電システム</b>  1kwhあたり1万円 上限8万円	<b>家庭用エネルギー管理システム (HEMS)</b>  上限 1万円	<b>電気自動車等充電設備 (V2H)</b>  上限 5万円	<b>高性能外皮等</b>  ※一体的導入に限る 新築 (ZEH) のみ対象 上限10万円	<b>エコ窓改修</b>  ※新築・増改築は対象外 主たる居室に係る全ての窓の改修を行うこと 補助対象経費の4分の1 (上限5万円)
<b>一体的導入例</b> <b>パターン A</b> ① 太陽光発電システム 上限4万円 + ③ 定置用リチウムイオン蓄電システム 上限8万円 + ④ 家庭用エネルギー管理システム (HEMS) 上限1万円 } 合計 上限 <b>13万円</b>	<b>パターン B</b> ① 太陽光発電システム 上限4万円 + ④ 家庭用エネルギー管理システム (HEMS) 上限1万円 + ⑤ 電気自動車等充電設備 (V2H) 上限5万円 } 合計 上限 <b>10万円</b>	<b>パターン C (ZEH*)</b> ① 太陽光発電システム 上限4万円 + ④ 家庭用エネルギー管理システム (HEMS) 上限1万円 + ⑥ 高性能外皮等 上限10万円 } 合計 上限 <b>15万円</b>				
<b>※ZEH(ゼッチ)とは?</b> ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス Net Zero Energy House ZEHとは「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー等を導入することにより年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを旨とした住宅」です。						
エネルギーを極力必要としない エネルギーを上手に使う エネルギーを創るZEH (正味で100%以上省エネ) 						

## 〔予算〕

10,450,000 円 ※令和2年度と同額